



来週の投資戦略 (8/19-23)

植田総裁とパウエル議長に注目

2024年8月18日

小松 徹

注目事項 — 見所

- 8月23日、7月の全国消費者物価指数(CPI) — 前年比+2.7%、コアコアは+1.9%?
- 8月23日、衆参財政金融委員会閉会中審査 — 日銀の植田総裁の発言は?
- 8月23日、パウエル連邦準備理事会 (FRB) 議長発言 — 景気重視の視点か?

株式市場見通し

先週3連休明け後の市場の反発力は凄まじかった。米ドル高・円安に米株高が大きく影響した。2週間前の市場暴落はどれもテクニカルな要因によるものらしいとの見方が強まったことも背景にある(後述)。来週もこの基調が維持されるか、あるいは反転するか、二人の発言が大きく影響するだろう。金曜日午前9時半に衆参財政金融委員会で日銀の植田総裁が発言する。各委員が2週間前の円急騰と日本株暴落を植田総裁のせいだとして様々な角度から問いただすだろう。また、日銀の内田副総裁との意見の相違も指摘するだろう。為替相場と株式市場が大きく動く可能性もある。日本時間深夜にパウエル FRB 議長の講演がある。木曜日から開催されるジャクソンホール会議での発言だ。今回のテーマが「金融政策の有効性と波及経路の再評価」なので、FRBの現在の金融政策をどう評価しているか直接聞ける。こちらも市場関係者は発言内容に反応するだろう。

先週金曜日午後4時に発表された8月5日の週の投資部門別売買状況から明確になったことがある。大きなリスクを取っていた投資家が投げ売り、地道な投資家が買い越したことだ。中長期の海外投資家は50百億円買い越し、短期の海外投資家は1兆27百億円売り越した。現金で売買する個人は30百億円買い越し、信用取引で売買する個人は36百億円売り越した。先物を売買する個人は14百億円の売り越しで、同市場の2割程度なので大したことはない。事業法人や信託銀行も買い越している。目立つのは証券会社の自己部門で、現物市場で1兆31百億円売り越し、一方、先物市場で1兆29百億円買い越し。先物市場の下げが速いのでこちらで買って、値段が追い付いていない現物市場で売り続けたと想像できる。主観的にまとめると、お行儀の悪い人たちが投げ、冷静な人たちが買った。海外投資家もいろいろ、個人もいろいろということだ。なお、一部マクロのヘッジ・ファンドでこれまで日本円を売り、同時に日本株を買う取引を積み上げてきた投資家はポジション解消のため投げ売りしたはず。

最後に、民主党のハリス大統領候補が経済政策を一部発表した。国民の不満を解消するため、住宅、食品などに税優遇、補助金と並び、企業や投資家を監視するようだ。中間層約1億人に恩恵があると推定されている。ただし、まだ財源について触れていない。全体が明らかになると、立ち位置がどの程度左に傾いているかわかるだろう。今後、注意深く政策を見てゆく必要がある。

KPAの投資戦略

ロング (買い)	ショート (売り)
好財務の割安株、今期増益株	高PB低位株、高PE新興株

(注) ヘッジ・ファンド向け戦略としての一例。投資期間は半年程度を想定。



本レポートは、情報提供の目的のみでご利用者に提供されるものであり、有価証券売買に関する何らかの申し込みまたは勧誘を意図するものではありません。本レポートに記載されるすべての意見および予測は、レポートの日付時点におけるコマツ・ポートフォリオ・アドバイザーズ(以下、KPA)の判断であって、予告なしに変更される場合があります。KPAは本レポートに記載される情報もしくは分析がすべてのご利用者にとって適切であるとの表明を行うものではありません。ご利用者は、投資に伴うリスクとメリットがご自身にとって適切であるかどうか、自己の責任で判断して頂きます。KPAは本レポートについてその正確性、完全性または適時性を保証していません。KPAはいかなる保証も行わないことを明確にしています。KPAは本レポートに記載される情報もしくは分析にご利用者が依拠した結果として被る可能性のある直接的あるいは間接的な損害について責任を負いません。本レポートについての知的財産権はKPAに帰属し、著作権、特許権、商標権その他の知的財産権に関する法令により保護されています。本レポートを印刷した場合も、その印刷物の著作権は、KPAに帰属します。ご利用者は個人的利用を目的としたバックアップのためにのみ印刷、複製することができます。プリントアウトした印刷物や複製したデータを、個人的利用以外の目的で使用することはできません。ご利用者は、本レポートを、有償・無償を問わず、第三者に提供することはできません。また、これを改変、修正することはできません。本規定にご利用者が違反した場合、KPAは金銭的な損害賠償を含む救済手段を請求する権利があります。